

国際公共政策論		講義	教授 田中 秀臣	
科目カテゴリー	国際ビジネスコースの専門 選択科目	科目ナンバリング	23200207	

1. 授業のねらい・概要

世界の人々の生活、経済、そして政府および国際的な政策協調との関連について理解を深める。特に本講義では、ひとつの国では対応が困難な様々な課題（ウクライナ戦争など有事の政治・経済的な影響、環境問題、難民、トランプ 2.0 下での貿易体制の構築、金融の問題、安全保障問題）を中心に学生との議論を通じて講義をすすめていく方針である。

2. 授業の進め方

特に教科書は指定しない。Power point などを使用して、時事的テーマもからめてわかりやすく説明していく。初心者でも予備知識なく国際公共政策の理解が深まるように講義は進行していきだろう。特に時事的な話題を積極的に取り組むために、適宜、授業計画の順番は柔軟に運用する予定である。

3. 授業計画

1. 全体のガイダンス	9. 移民・難民の経済学
2. 国際公共政策の理論（ゲーム論アプローチ）	10. エネルギーと食糧問題の経済学
3. 市場の失敗と集合行為	11. 貧困問題、児童労働、消えた女性問題
4. 安全保障の経済学（東アジアの緊張を事例に）	12. 経済格差の国際的解決
5. 米中貿易戦争と貿易政策、ゲーム理論の応用	13. 国際的文化政策の経済学
6. ウクライナ戦争/中東の紛争の経済的影響	14. 金融危機と世界経済
7. ガザ地区の経済分析と国際支援のあり方	15. 意見の分断と「自由への道」の新しい経済学
8. 環境問題での国際協調	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回の授業の前に指定された参考資料を各自よく学んでおくこと。目安として1時間程度の学習時間が必要。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

試験実施後、レポートについては提出後に、標準的なレポートの書き方、求められたポイント、高得点のためのコツなどを解説する。

6. 授業における学修の到達目標

国際的に問題になっている政策問題の主要項目について、一通りの理解と習得ができていていること。現代の問題との関連が理解できること。

7. 成績評価の方法・基準

授業中の取り組む姿勢を重視する（50%）。期末には試験またはレポートを提出させて総合的に評価（50%）していく。

8. テキスト・参考文献

特に指定はない。ただし以下の書籍を講義ではしばしば利用する。

岡田章『国際関係から学ぶゲーム理論』有斐閣

アマルティア・セン『貧困と飢饉』岩波書店

タイラー・コーエン『創造的破壊』作品社

タイラー・コーエン『エコノミストの昼ごはん』作品社。

9. 受講上の留意事項

特になが、熱意をもって講義を理解しようとする姿勢が重要である。また現実の経済の話題に常に注意を払ってほしい。疑問や議論があれば積極的に質問してほしい。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当しない。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。